

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2020.4.15 No.377 東京・羽村平和委員会発行



## 米軍 関東で非常事態宣言

### CVオスプレイ激しい訓練



### 横田輸送機も激しく飛行

横田基地所属の輸送機C-130J-30の訓練がひどくなっています。横田基地周辺でも、昼も夜も飛び回り、滑走路を横切る飛行をしたりと異常です。

東富士演習場でも、パラシュート投下をし、横田基地でも4月3日には、特別な空中投下が行われていました。

また全国各地で目撃されています。

長野・上田・諏訪などで目撃 4月9日

<https://www.shinmai.co.jp/news>



<https://www.stripes.com/news/navy-sends-sailors-to-yokota-air-base-for-14-day-movement-restriction-1.625411>

Navy sends sailors to Yokota Air Base for 14-day movement restriction



### コロナで水兵 横田で2週間隔離

星条旗によると、横田基地に海軍の水兵が4月8日に、移動制限で2週間過ごすためにやってきたそうです。どこの船からきたのか、何人なのか、基地内の何処にいるのかなどは、明らかにしていません。

# 普天間基地から ピーフォス含む大量の泡消火剤が流出!

(琉球新報より) 4月10日午後4時45分ごろ、米軍普天間飛行場の格納庫で消火システムが作動し、発がん性が指摘される有機フッ素化合物の一種PFOS(ピーフォス)を含む泡消火剤が放出された。消火剤は雨水排水用の水路で水に混じり、基地外の南側に流出した。風にあおられ、宜野湾市真栄原や大謝名周辺の住宅地に降った。沖縄防衛局は米側の情報として「泡消火剤が使用された際に、かなりの量が市側に漏れ出した」と説明した。

宜野湾市上下水道局によると、消火剤が漏出した水路の水は下水処理されず、比屋良川に合流して牧港湾に流れ出る。防衛局によると、周辺地域への被害は把握していないという。



# 泡消火剤漏出22万リットル

## 14万リットル超が基地外に

## 国と県立ち入り申請

米軍普天間飛行場から発がん性が指摘されているPFOS(ピーフォス)を含む泡消火剤が大量に漏出した事故で、約22万7100リットル(ドラム缶1135本)が流れ、そのうち6割超の約14万3830リットル(同719本)が基地外に流れ出したことが14日、分かった。防衛省が明らかにした。同日、防衛省は日米地位協定の環境保護協定第4条(a)にある環境に影響を及ぼす事故として、米側に基地内への立ち入り申請、県も15日の申請に向け最終調整している。県によると、同条項に基づき申請は初めて。

(2・23面に関連)

漏出した残りの約8万3270リットル(同416本)は、基地内で米軍が回収した。松川正剛宜野湾市長は本紙取材に「かなりの量だ。心配だ」と話した。

防衛省によると水で原液を希釈した分量という。在沖米海兵隊は事故発生の11日、市側に事故前の時点で4千リットルと説明していた。4千リットルが原液かどうかわかり、ピーフォスの含有量などは不明。

基地内への立ち入りを定めた環境補足協定第4条に基づき、川村裕外務省沖縄大使と田中利則沖縄防衛局長

(a)は「環境に影響を及ぼす事故(すなわち、漏出)が現に発生した場合」となっている。手続きは米側が「環境に影響を及ぼす事故」として、自治体に通報するのが前提。今回、米軍は県や市に事故を報告しているが、同条項に基づくものかどうかは不明だ。

防衛省は14日、「大規模な流出事故」(伊藤茂樹報道官)との認識を示した。謝花喜一郎副知事も同日、同条項に「該当する」として、川村裕外務省沖縄大使と田中利則沖縄防衛局長



県の松田了環境部長(左)に早急な対応を求める上野自治会の金城武信会長(右)＝14日午後、浦添市・牧港地蔵

## 医療者復帰を

## コロナ対策 知事、経験

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、玉城デニー知事は14日、退職や休職で現場を離れた看護師や保健師の経験者に向けて「即戦力として現場復帰を切に希望する」と協力を呼び掛けた。「医療従事者の確保が喫緊の課題だ。医療現場を一緒に支えてほしい」と訴え、県民にも「密閉・密接・密接になりやすい夜間の